



丹後小学校 PTA 家庭教育委員会
令和5年度 第2号
「風習を知ろう①」



日頃より PTA 活動へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。一つ一つの活動が親子で
かかわる機会になればと思っております。今号は『風習』のお話です。

『風習』とは何でしょう？

『風習』とは、その土地で長い間繰り返して行われてきた、古くから伝わる行事やしきたりのことです。例えば、『ひなまつり』や『こどもの日』、学校行事では『書き初め』など、これからの時期であれば『お盆』も風習の一つです。

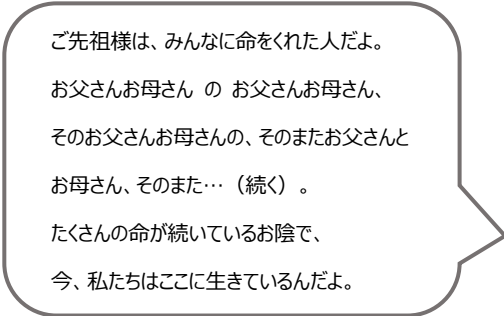


『お盆』とは何でしょう？

『お盆』はご先祖様を供養する期間で、ご先祖様の霊があのお世から帰ってきて家族と一緒に過ごし、再びあのお世に戻っていくと考えられています。「お陰様で元気に暮らしています」とご先祖様に感謝する行事でもあり、8月13日から16日（または15日）に行われている地域が多いようです。

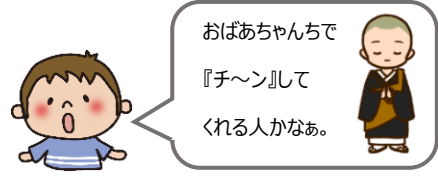
日本には古くから夏にご先祖様を供養する風習があり、そこに仏教の『盂蘭盆会（うらぼんえ）』という行事が伝わり、合わさって一つの行事になったと考えられています。

諸説ありますが、お盆のいろいろな行事をみてみましょう。



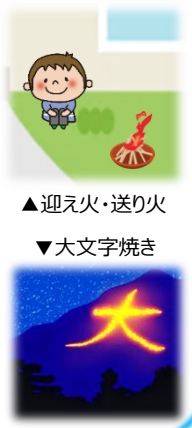
棚経 (たなぎょう)

お盆の前に僧侶が檀家の家を一軒一軒訪ね、お仏壇や精霊棚の前でお経を唱えるものです。家族はお線香をあげて合掌をし、ご先祖様への感謝の気持ちを伝え祈りを捧げます。



迎え火・送り火

ご先祖様は、火を目印に帰ってくると言われています。13日に玄関先や庭などで『迎え火』を焚いてご先祖様を迎え、16日に『送り火』を焚いて送ります。
とうろう 灯籠を川や海に流す『灯籠流し』や、^{たいまつ}松明の炎で山に『大』の字を描く『大文字焼き』も有名ですね。



精霊馬 (しょうりょううま)

ご先祖様があの世とこの世を行き来する時の乗り物として、この世へ帰ってくる時のために馬に見立てたキュウリを、あの世へ戻っていく時のために牛に見立てたナスを、割り箸などで足を付けてお供えするものです。



ありがとう。
帰ってきたです。

少しでも早くお家に帰って
来られるように脚が速い **馬**



来年もたのむで〜

荷物をのせてゆっくり
戻れるように脚が遅い **牛**

お墓参り

13日のお墓参りは、ご先祖様をお墓から自宅まで連れて帰るという意味があるそうです。お線香、お水、お花、ご先祖様の好きな食べ物などをお供えし、合掌をします。

食べ物をお墓にお供えしたままにすると野生鳥獣の誘因となるので、お参りが終わったらお供え物は持ち帰り、自宅でいただきますよ。

12 つくら責任 つかう責任



ご先祖様はお家におるのに、14日に誰もおらんはずのお墓にお参りに行くのはなんで？

そうだね。ご先祖様は13日に自宅に帰るのにね。お墓が留守の間は、他の仏様がお墓を守ってくれていて、14日のお墓参りは『留守参り』って呼ぶ地域もあるよ。



合掌 (がっしょう)

合掌は、両手を合わせる行為で、仏教が生まれたインドが発祥です。右手が『仏様の世界』、左手が『現世』を表しており、両手を合わせることで二つの世界が一体となると考えられています。

ご飯の時に手を合わせるのは、食べ物になった命をいただくことや、食事にかかわってくれたたくさんの人に対して「ありがとう」「いただきます」の気持ちを込めてするだったねえ。



盆踊り

現在では日本各地で多種多様な盆踊りがみられますが、盆踊りは、一緒に過ごしたご先祖様をあの世へ送り出す供養の行事です。災いを払う意味などもあります。盆踊りは足の動きに意味があり、『足で地面を強く踏み鳴らすことで悪霊や死霊を鎮め、あの世へ送ることができる』と考えられています。

子どもたちにお盆の意味を伝えることは重要です。宗派や地域によって異なりますが、皆さんのお家や地域で行なわれていることがあれば、子どもと一緒に参加してみるのもいいですね。子どもたちが家族のきずなや生命のつながりを感じ、ご先祖様へ感謝の気持ちをもつ良い機会になればと思います。



「おぼん」って給食の時のと違ったわ。ぼく、棚経とお墓参りしか知らなんだ。



ご先祖様って、私らあのことをいつも見守ってくれとるかもしれんね。だったら、お墓参りとか盆踊りとか、ちゃんとしてみようかなあ。



そうだね。ぜひ盆踊りで1周でも踊ってね。間人は今年4年ぶりの盆踊りで、みんなが楽しめる企画もあるし、間人以外の子どもたちも8月13日に丹後小学校で待ってるよ。他の地区の盆踊りや成願寺の地藏盆もあるね。ご先祖様は子どもが大好きだから参加するときと喜んでくれるよ。